宮之城町虎居の庚申塔

【所　在　地】薩摩郡さつま町虎居 1781
【種　　別】県指定有形民俗文化財
【指定年月日】昭和 50 年３月 31 日

本県の庚申塔のうちでも古いもので，享禄４（1531）年の記銘がある。やや赤味がかった凝灰岩に丸彫りした一石五輪塔が台石の上にのっている。碑高 86cm，損傷は少なく，ほぼ完全な形である。

正面に「上章涒灘」という文字を刻み，本県初期の庚申塔の性格を知る上で重要である。右側面に，墨書で「禅門」と７つ並記してあるが，左方はつめて書いてあり，ととのっていない。

〈参考〉

● 上 章 は十干の庚の異称，涒灘は十二支の申の異称， 小 春 は陰暦十月の別名である。